

こころの健康から考える社会の未来

地域ケア開発研究所 梅田 麻希

キーワード 社会疫学、精神保健、公衆衛生、社会格差

研究概要

こころの健康に影響をあたえる社会的な要因(貧困やジェンダー、就労など)について研究を行っている。こころの健康の中でも、特に、引きこもりや虐待、配偶者間暴力など行動や家族機能の問題に焦点を当てて研究を行ってきた。近年では、職業とこころの健康についても研究を行い、日本に存在する性別に特有のパターン(ジェンダーの影響)を見出した。これらの研究から、社会とこころの関係は、文化的歴史的背景により異なっていることが示唆される。例えば、心の健康にとって世界的に「好ましい」と考えられている「親の高学歴」は、日本ではひきこもりのリスク要因となり得るし、「管理職であること」は女性にとってこころの健康度を下げないように働く。今後は、国際比較を通じてそのメカニズムを紐解き、「生きやすい社会」の実現に向けた提言を行っていききたい。

アピールポイント

国内外の地域疫学調査の運営に携わり、社会と健康との関連について研究を行ってきた。現在は、WHO Collaborating Center for Disaster Risk Management for Healthのメンバーとして、国際的なネットワークを活用した研究・教育活動を行っている。

応用分野

- ・健康政策や保健事業の策定と評価
- ・ソーシャル・インクルージョンに関する研究と実践活動